

普通救命講習会

南越谷地区センター
防災部会担当 7月12日(土)

越谷市消防署の指導でコミ協会員中心に21名が参加しました。初めに講義があり、救急車到着までには8〜9分かかり、救急が1分遅れるごとに救命率は7〜10%下がる。救急車が到着するまでの適切な対応が生存率アップにつながるなどの説明がありました。

その後4グループに分かれて実技に入りました。心肺蘇生法(胸骨圧迫・人工呼吸)とAEDの使用手順を一人ずつ交代で練習しました。段階毎の練習では、正しい胸骨圧迫のリズムや体勢がなかなか取れず指導を受けていましたが、通しの段階になると全員がスムーズに行えるようになります。救命の現場は様々です。今回は、色々な状況を設



定して訓練を行い、受講者は実際の現場のような真剣さで取り組み、積極的な質問もありました。

救急の現場に居合わせたとき、あわてずに対処できるよう繰り返し救命講習を受けたいものです。

S・K